

公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日 時：2026年1月13日（火）9時30分～12時40分

場 所：日本天文学会事務所（オンライン開催）

出席代議員：赤堀 卓也、浅井 歩、井岡 邦仁、石垣 美歩、石川 遼子、市來 淨與、稲見 華恵*、
犬塚 修一郎、井上 昭雄、井上 芳幸*、江草 芙実、大朝 由美子、大向 一行、檜山 和己、
川端 弘治、河野 孝太郎、小林 千晶、高橋 慶太郎、谷口 大輔、土居 守*、当真 賢二、
富田 晃彦、富永 望、長尾 透、野村 英子、林 左絵子、深川 美里、藤井 通子、藤井 友香、
細川 隆史、堀田 英之、松本 浩典、望月 優子、山岡 均、山崎 典子*、山崎 了、
横山 央明、吉田 直紀*

欠席代議員：相川 祐理、井上 剛志、大須賀 健、岡本 桜子、諏訪 雄大、田中 雅臣、富田 賢吾、
百瀬 宗武

委任状：7通

出席理事：太田耕司会長、永井洋庶務理事、勝川行雄庶務理事、美濃和陽典会計理事、
鈴木竜二会計理事（深川美里副会長、長尾透副会長は代議員を兼任している。）

出席監事：熊谷紫麻美*、中村文隆

遅刻・途中退席の代議員（事前申告有）に*が記されている。

また、一丸事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、代議員総数46名のうち、開始時点での出席代議員が36名、委任状7通で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議長：太田 耕司

署名人：太田 耕司

また、オンライン会議システムによる出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同じく適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。

I-2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回代議員総会（2025年9月10日）の議事録が確認された。

II. 議題

公益社団法人日本天文学会の代議員総会に提出した議題は会長が作成し、各担当理事に詳細の説明を指示した。

II-1. 外部相談窓口設置の承認（資料3、長尾）

2026年4月1日から試行として外部相談窓口を設置すること、相談窓口の対応範囲、相談フロー、2026年度予算案に計上されていることが説明された。賛成多数で承認された。

II-2. 監事（外部監事として）の追加について（資料4、中村）

外部監事として大内正己氏を監事に追加することが提案された。賛成多数で承認された。

II-3. 公益社団法人日本天文学会 2026 年度事業計画の承認（資料 5、永井）

2026 年度（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）事業計画書が提示され、賛成多数で承認された。

II-4. 公益社団法人日本天文学会 2025 年度予算の承認（資料 6、美濃和）

2026 年度（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）予算案が提示され、賛成多数で承認された。

II-5. 2026 年度各賞受賞者の決定

林忠四郎賞（資料 7、井田）

受賞候補者として大向一行氏が推薦され、同氏の業績について説明がされ、推薦理由の軽微な修正と論文引用数について追記することとし、賛成多数で承認された。なお、審議に際して受賞候補者の大向氏は一時退室頂いた。

欧文研究報告論文賞（資料 7、井田）

本年度は 6 編の応募があり、Akino et al. (2022)、および、Yajima et al. (2021) の 2 編が推薦され、それぞれの論文内容についての説明がされた。引用数について追記することとし、2 編とも賛成多数で承認された。

研究奨励賞（資料 8、堀田）

16 件・16 名の推薦（自薦 1 件）があった。審査の結果、尾上 匡房氏、鄭 昇明氏、行方 宏介氏の 3 名が研究奨励賞の候補に推薦され、推薦理由について説明された。3 名とも賛成多数で承認された。ハードウェア開発に関する業績も評価対象になっているのか質問があった。審査においては開発業績も対象であること、そうした業績が公平に扱われていることが回答されたが、開発功績を学会としてさらに奨励すると良いという意見があった。

天体発見賞、天体発見功労賞、天文功労賞（資料 9、川端）

天体発見賞候補は 3 氏 5 件、天体発見功労賞は 2 氏 3 件の推薦理由が説明され、賛成多数で承認された。天文功労賞（長期部門）候補について推薦理由が説明され、原則として毎年 1 件以内とあるが、候補 2 名の貢献は高く実績の方向性が異なることから同時に 2 件 2 名推薦する経緯が述べられた。賛成多数で承認された。天文功労賞（短期部門）は 2 件 11 氏、2 団体の推薦理由が説明され、賛成多数で承認された。候補のうち 2 名は、SNS アカウント名での推薦となっていて、受賞公表に際して、本名とアカウント名のどちらで公表するかを推薦委員長から本人に確認することとした。

日本天文遺産（資料 10、松尾）

日本天文遺産として本年度は新たに 6 件が推薦された。これまで認定に至らなかった候補も合わせて 26 件についての検討を行った。本年度は委員会から 2 件を推薦し、推薦理由について説明され、賛成多数で承認された。

天文教育普及賞（資料 11、渡部）

本年度は新規推薦で 7 件、これまでの未受賞の候補も合わせて 23 件を対象に審査を行った。本年度は 3 件（2 名、1 団体）を委員会から推薦し、推薦理由について説明された。賛成多数で承認された。

III. 報告

III-1. 理事会（2025年12月22日）の報告（資料無、永井）

2025年12月22日に行われた理事会に関して報告された。以下の個別報告事項に加え、各種委員会活動の報告が行われた。

III-2. 第9期日本天文学会代議員選挙開票結果報告（資料12、山崎）

第9期代議員選挙の開票結果が報告された。今回から電子投票のみとなったが、多くの投票は、投票開始時期と締め切り直前に集中していたため、投票期間を短くしても良いかもしれないという説明があった。これについて経緯を確認する質問があり、これまでは郵送による投票もあったため期間を長くとっていたことが回答された。

III-3. 若手国際交流研究会基金について（資料13、太田）

若手国際交流研究会基金と若手国際交流研究会選考委員会が理事会にて承認されたこと、2026年度から研究会の募集を始めることが報告された。

III-4. 日本天文学会遊休財産の推移予測（資料14、美濃和）

遊休財産の推移予測と、検討中の対応案について説明がなされ、今後も検討を継続することが確認された。

III-5. 学会 CoC 内部相談窓口設置に向けた有志の会活動報告（資料15、浅井）

内部相談窓口設置に向けた有志の会の活動について報告され、相談員の選定方法の検討とハラスメント対応講座の受講の必要性について説明された。

III-6. 日本天文学白書委員会報告（資料16、高橋）

これまでの活動と今後の活動の概要と、白書の執筆者の構成について説明がなされた。

III-7. 日本学術会議報告（資料17、浅井）

日本学術会議法の制定と法人化に向けた準備状況について共有された。未来の学術振興構想（改訂版）策定の今後の予定の説明とともに、天文学・宇宙物理学分野の将来計画を分科会独自にまとめる計画であることが報告された。

III-8. 今後の年会開催地について（資料なし、太田）

2027年秋の年会開催地は、広島大学となることが報告された。

[資料リスト]

資料1 代議員総会出欠席表

資料2 公益社団法人日本天文学会代議員総会（2025年9月10日開催）議事録（案）

資料3 外部相談窓口設置について

資料4 監事（外部監事として）の追加について

資料5 公益社団法人日本天文学会2026年度（2026年4月1日-2027年3月31）事業計画書

資料6 公益社団法人日本天文学会2026年度（2026年4月1日-2027年3月31）収支予算書

資料7 2025年度日本天文学会林忠四郎賞候補者推薦書、欧文研究報告論文賞推薦書

資料8 2025年度（第37回）日本天文学会研究奨励賞選考過程報告書、候補者推薦書

資料9 2025年度日本天文学会天体発見賞・天体発見功労賞・天文功労賞候補者推薦書

資料10 2025年度（第8回）日本天文遺産選考経緯報告書、推薦書

- 資料 11 2025 年度日本天文学会天文教育普及賞選考仮定の概要報告、推薦書
- 資料 12 第 9 期日本天文学会代議員選挙開票結果報告
- 資料 13 若手国際交流研究会基金について
- 資料 14 日本天文学会遊休財産の推移予測
- 資料 15 学会 CoC 内部相談窓口設置に向けた有志の会活動報告
- 資料 16 天文学白書委員会活動報告
- 資料 17 日本学術会議報告

2026 年 1 月 13 日

議長・署名人： 太田 耕司 印